

にし西

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1

TEL 641-2400 内線224~227 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時～

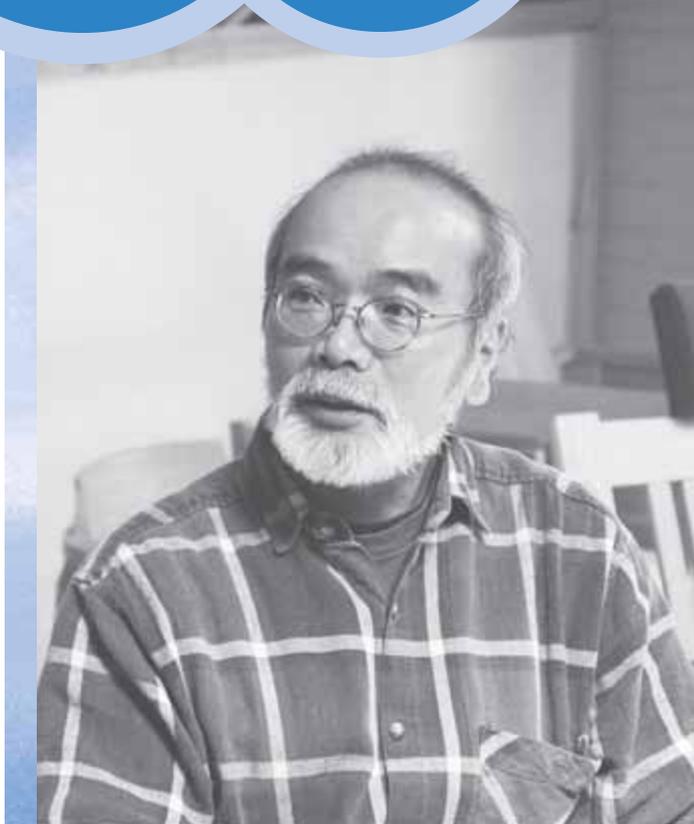
◎西区協力番組「西区まちセン最前セン」同局毎週木曜日午前11時～

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2009・5



まちの人



木工家
北海道工業大学建築学科非常勤講師

たかはし さんたろう
高橋 三太郎さん(60)

昭和57年に家具工房を設立。家庭用いす、テーブルを中心とした木製オーダーメイド家具を制作・販売している。

これまでに、かでの2・7のハワイイベント、道警本部のロビー家具の制作、札幌コンサートホール「Kitara」の大・小ホール客席デザインなど、建築空間と家具の調和を意識した数多くの作品も手掛けている。



■工房の二階がショールームになっており、顧客との打ち合わせなどもここで行う。

小別沢。豊かな自然に囲まれ、街の騒々しさから隔絶された静かな土地に、高橋三太郎さんの工房があります。「不思議な場所なんですよね、小別沢って」と切り出す高橋さん。「これだけ自然が残っているのに、その気になれば地下鉄の円山公園駅にも歩いて行けちゃう。木工を始める前から知人が住んでいて、ずっとこの土地にあこがれていた」そうです。

高橋さんは名古屋生まれ。大学で札幌に来て、豊かな自然環境や住民の人間性が気に入りました。在学中、教室で講義を受ける毎日に疑問を感じ

札幌は私の原点

じ、一人で三年間、世界を放浪した後も、帰ってきたのは名古屋ではなく、札幌だったというほど。「私が生まれたのは名古屋、今ある私が『始まった』のは札幌」と高橋さんは考えています。

その後、生計を立てるために英会話学校で講師などをする傍ら、ほとんど独学で木工の技術を身に付けて「家具工房 Sanitaro」を設立しました。「木工で食べていくのは大変」と分かっていながらも、高橋さんにとって木工は「自己実現の方法」。迷いは無かったと言います。

高橋さんのポリシーは「自分らしく、ゆっくり暮らす」ということ。「木工を始めたころは大量生産、大量消費の時代。そんな時代に逆行していたライフスタイルが、今ではキーワードの一つ。気が付けば、一周遅れのトップランナーみたい」と笑います。

「例えば東京のように量的な豊かさがあったても、自然が近くに無い生活は性に合わない」と考える高橋さん。「ちよūdよい札幌の大きさと、豊かな自然の中での暮らしが、私にとって一番」と満足そうに話してくれました。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがき、ファクス、Eメール nishi@city.sapporo.jp で西区総務企画課広聴係(上欄へ)。